

農林水産統計

Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries

農林水産省
近畿農政局
和歌山農政事務所

平成 22 年 8 月 31 日公表

平成 22 年産水稻の 8 月 15 日現在における生育状況 (和歌山県) —生育は「平年並み」—

【調査結果の概要】

平成 22 年産水稻の 8 月 15 日現在の生育は「平年並み」となっています。

表 1 8 月 15 日現在の生育状況 (平年比較)

区 分	生育の 良 否	草丈の 長 短	茎数の 多 少
		平年並み	やや少ない
和歌山県	平年並み	平年並み	やや少ない

【解 説】

- 田植期は、4 月下旬から 6 月上旬にかけて平年に比べ気温の低い日が多く、一部地域で苗の生育が抑制されたことから遅れがみられたものの、全般的にはおおむね順調に経過し、最盛期は 6 月 4 日で「平年並み」となりました。
- 田植期以降は 6 月中旬から 7 月中旬にかけて気温の高い日が多かったものの、曇りや雨の日が続いたことから、日照不足となり初期分げつが抑制され茎数はやや少なくなりました。7 月下旬以降日照時間が確保されたことから、草丈は平年並みとなりました。このことから生育については「平年並み」となりました。
- 出穂期は、一部地域で生育が抑制されたものの、全般的には 6 月中旬以降気温の高い日が多く、7 月下旬以降日照時間が確保されたことから生育は順調に経過し、最盛期は 8 月 8 日で「平年並み」となりました。
- 被害についてはコブノメイガやセジロウンカの虫害が多く見られます。また一部地域でスクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) の食害もみられます。

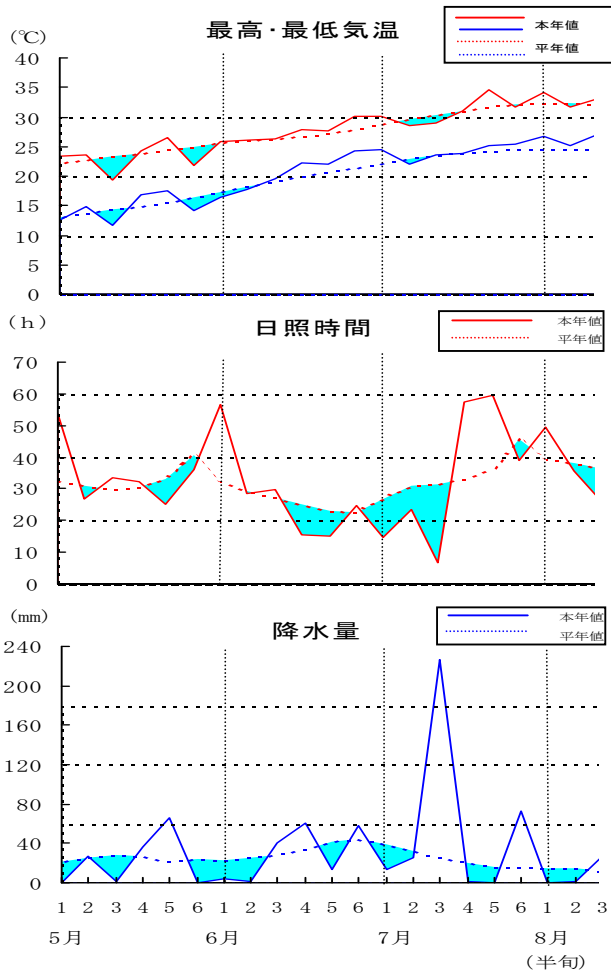
表2 田植及び出穂の状況

区分	田植期			出穂期						
	最盛期	最盛期の比較		始期	最盛期	終期	最盛期の比較		8月15日現在	
		対平年	対前年				対平年	対前年	出穂済面積割合	対平年差
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	%	ポイント	
和歌山県	6.4	並み	並み	7.19	8.8	…	並み	並み	83	0

【利用上の注意】

- 1 本調査は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況等を総合して、8月15日現在における稲体の状態を示すもので、作柄を予測したものではありません。
- 2 田植期の最盛期とは、田植済み面積割合が50%に達した期日です。また、出穂期の始期、最盛期、終期とは出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日です。
- 3 「終期」の欄の「…」は、その期日に達していない事を示すものです。

図 平成22年半旬別気象図（地点：和歌山）



データ：和歌山地方気象台「和歌山県農業気象速報」

問 い 合 わ せ 先

◎本統計調査結果について
 和歌山農政事務所 統計部
 生産流通消費統計課 生産流通消費統計係
 TEL：(073)436-3834 (直通)
 FAX：(073)436-0914

◎農林水産統計全般について
 和歌山農政事務所 統計部
 統計企画課 企画・分析係
 TEL：(073)436-3847 (直通)
 FAX：(073)436-0914

<http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/mn/sakutuke/index.html>